

郷土を語り
人々の輪が広がる

東京奈良県人会だより

編集発行所：一般社団法人 東京奈良県人会 発行人：榎本 俊洋（2017年夏号）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3 奈良県東京事務所内 電話 03-5210-2838 HP: <http://tkynarakenjinkai.jimdo.com/>

TOKYO NARA HUMAN NETWORK NEWS NO. 40

●● 平成28年度ふるさと奈良の集い ●●

首都圏で活躍する奈良県出身者やゆかりの人たちが交流する「平成28年度ふるさと奈良の集い」（奈良県、東京奈良県人会主催）が、平成28年11月30日（木）午後6時30分から東京都品川区の東京マリオットホテルで開かれた。荒井正吾知事や奈良県選出国會議員、県内の市町村長らも含めて全体で約220人が出席した。

冒頭のあいさつで、荒井知事は奈良市の県営プール跡地に建設予定の高級ホテルJWマリオットに触れ、「他にもいくつかの高級ホテルから引き合いがある」と報告。また奈良県庁周辺の公共施設にホテルやレストランを誘致する、新たな観光拠点創出案を紹介した。

続いて吉野町出身の榎本俊洋東京奈良県人会会長が「役員に多くの若手を起用して魅力ある県人会をつくり、会員数を倍増させたい」と抱負を述べた。

御所市出身の米田信悟はとバス専務の発声で乾杯し懇親会が始まった。会場には奈良県産食材を使った料理が並び、参加者は柿の葉すしや地酒など古里の味に舌鼓を打った。

また、奈良市出身のクラリネット奏者、近藤綾子さんが率いる三重奏「クランベリートリオ」が、軽快な曲を奏で会場を盛り上げた。

香芝市出身の会社員、中条健一さん(38)は「同じ言葉で会話ができて安心できる。奈良つながりでいろんな人と知り合え、楽しい」と笑顔で話した。



あいさつする榎本俊洋会長



米田信悟はとバス専務の発声で乾杯



クラリネット奏者、近藤綾子さん(右)が率いる三重奏

●● 参与会・第16回若手の会「大忘年会」 ●●

平成28年12月16日(金)午後6時30分

会場・パソナグループ本部ビル地下1階ソシエテサロン

第16回例会は忘年会として12月16日(金)午後6時30分から東京都千代田区大手町のパソナグループ本部ビル地下1階ソシエテサロンで開かれた。約90人が参加し1年の活動を締めくくった。

会場は、パソナグループ勤務で奈良市出身の大角元康さんのご協力により借りることができた。大角さんはプロ級の腕前を持つ尺八を演奏し、厳かな音色に参加者は聴き入った。途中、奈良新聞社東京支社の矢部創記者が「今年の10大ニュース」として平成28年に奈良県内で起きた10ニュースを取り上げ解説した。

また、奈良県内の自治体や企業、個人から提供された名産品やグッズなどの景品がもらえるジャンケン大会が開かれ、おおいに盛り上がりを見せた。特に王寺町から提供された同町マスコットキャラクター「雪丸」のぬいぐるみは人気が高く女性が熱心にジャンケンに講じていた。

参加した国会議員や大手企業役員、官僚らと交流した若手県人は「ふだん会うことのない人たちとお話ができる勉強になる」と話した。

お土産に五條市産の大振り柿が2個ずつ配られ、その大きさや色つやを見た参加者は「東京の柿と全然違う」と笑顔で受け取って帰った。



プロ級の尺八演奏を披露した大角さん



大勢の若手県人が参加し盛り上がった忘年会



お土産に五條市産の柿が配られた

●● 第2回奈良県人会全国大会 ●●

5年ぶり古里へ集う 国内外200人が交流

国内外各地の奈良県人会組織の交流会「第2回奈良県人会全国大会」(奈良県主催)が平成29年1月28日(土)午後1時から奈良市三条本町のホテル日航奈良で開催された。5年ぶりの開催で、東京や大阪、東海など国内の奈良県人会のほか、ブラジルやベトナム、上海など海外も含めて全10団体約150人が集まった。奈良県選出国會議員や奈良県議會議員、県内市町村長ら全体で約200人が参加した。東京県人会から約30人が参加し各地の県人と交流を深めた。



あいさつする東京奈良県人会の榎本俊洋会長

冒頭、荒井正吾知事が「ようこそ古里にお帰りくださいました。ひととき古里の香りに浸ってください」とあいさつ。来賓の川口正志奈良県議會議長をはじめ奈良県選出の衆参國會議員らが歓迎の言葉を述べた。各県人会を代表して大阪奈良県人会の中井政嗣会長は5年前の第1回大会を振り返り「奈良の人は親戚、同じ市町村なら親兄弟のように感じる」と述べた。

また明治時代に十津川村を襲った台風の水害で北海道への移住を余儀なくされた村民が開拓した新十津川町から参加した熊田義信町長は「いま、移住してから5代目になる。新十津川町は奈良県を母県、十津川村を母村と呼び親の実家に来た気分だ」と古里への思いを語った。

乾杯の音頭を任された東京奈良県人会の榎本俊洋会長は「数年前に若手の会を立ち上げ盛り上がっている。若い力と共に世界に羽ばたく奈良にしたい」と述べ高々と杯を掲げた。会員らは互いに自己紹介をしながら古里の思いなどを語り交流を深めた。

会は午後5時に一旦閉会し、バスで奈良市内の平城宮跡大極殿前特設会場へ移動。奈良の冬の新たなイベントとして平成28年から始まった「大立山まつり」を見学し、冬の風物詩「若草山の山焼き」を鑑賞した。

その後、東京奈良県人会の一行は奈良市新大宮の居酒屋へ場所を移し地元の知人らを交えて古里の夜を楽しんだ。



他の県人会会員と交流する東京奈良県人会会員ら



「奈良県民の歌」を熱唱する東京奈良県人会会員

●● 奈良新聞「奈良遺産70」巡り ●●

郷土の魅力を再確認 奈良遺産70ツアー

東京奈良県人会の有志21人は平成29年1月29日(日)、奈良新聞が奈良の魅力70件を独自に選定した「奈良遺産70」を巡るツアーを実施した。奈良市中院町の元興寺や同市春日野町の春日大社、奈良公園など奈良市東部にある奈良遺産10数件を歩いて巡り、郷土の魅力を再確認した。前日の28日に奈良市三条本町のホテル日航奈良で開催された第2回奈良県人会全国大会に出席した会員らが参加した。奈良遺産70は昨年の奈良新聞創刊70周年を記念して紙面で発表された。

一行は朝、JR奈良駅旧駅舎(三条本町)をスタートし「奈良のピラミッド」と言われる史跡「頭塔」(高畑町)など町のあちこちに点在する名所旧跡を見て回った。元興寺では寺の歴史や文化財を、春日大社では若宮おん祭にまつわる話などを聞いた。また鹿苑(春日野町)では奈良公園の鹿の歴史や生態などの説明を受けた。

参加した阪本澄さんは「頭塔は知らなかった。ガイドブックにない説明を聞いてよくわかった」と満足そうに話した。裕本会長は「知らない奈良がたくさんあった。今後、他の奈良遺産も訪れてみたい」と意欲を見せた。



元興寺住職と記念撮影



奈良町を歩く参加者



春日大社宮司の説明を受ける参加者



春日大社に参拝する会員

●● 平成 28 年度東京奈良県人会賀詞交歓会 ●●

矢部奈良クラブGMが講演 新年のスタート祝う

平成28年度東京奈良県人会賀詞交歓会は平成29年2月10日(金)午後6時30分から東京都文京区の「MLBカフェ東京ドームシティ店」で開かれた。首都圏在住の奈良県出身者やゆかりの人ら約70人が出席した。第1部は、奈良県初のJリーグ入りを目指すサッカーチーム「奈良クラブ」の矢部次郎GM(38)が「奈良にJリーグクラブを!」と題し講演。第2部は懇親会が開かれた。

冒頭、榎本俊洋会長があいさつに立ち「若手の入会が増え会員数が約240人になった。会員1000人を目指して盛り上げていきたい」と今年の意気込みを語った。

講演では矢部GMが奈良クラブの歩みや今季にかける思い、奈良県のサッカー環境などについて熱く語り「首都圏での試合には是非足を運んでもらいたい」と応援を求めた。

懇親会では会員同士が互いの近況などを語り合いながら交流した。途中、奈良県のマスコット「せんとくん」が登場しダンスを披露して会場を盛り上げた。また、奈良クラブへのカンパを募り、集まった浄財を矢部GMへ手渡した。会の最後に全員で「奈良県民の歌」を合唱し、新年のスタートを祝った。



年頭のあいさつに立つ榎本俊洋会長



講演する矢部次郎GM



矢部次郎GMの講演に聞き入る参加者



せんとくんダンスで盛り上がる会場

●● 平成29年度東京奈良県人会第3回定時社員総会 ●●

一般社団法人東京奈良県人会平成29年度第3回定時社員総会が平成29年6月23日(金)午後6時30分から東京都千代田区のグランドパレスホテルで開かれた(出席会員42人、委任状87人、非会員26人)。議長に松本俊洋会長が選任され、議事が進行され、平成28年度事業・決算報告や29年度事業計画案、予算案などを賛成多数で承認した。また、橿原市出身の幕内力士、徳勝龍関も駆けつけ、参加者と交流を深めた。

■ 松本俊洋会長あいさつ

昨年の総会で20数年にわたり会長を務められた西与吏郎会長からバトンタッチさせていただき、皆さんに支えられながら1年間務めさせていただきました。皆さんのおかげで、昨年の総会時に約200人だった会員数は現在、約250人に増やすことができました。本日の総会も去年は40数名でしたが今年は70人ものご出席をいただきました。ありがとうございます。きょうはスペシャルゲストとして郷土の力士である徳勝龍関にご参加いただきます。懇親会で交流していただければと思います。



わが東京奈良県人会は他の東京県人会の中でも最古参といわれ約120年の歴史があります。諸先輩から引き継がれてきた伝統を受け継ぎつつ、若い県人にも参加してもらいながらさらに拡大していきたいと思っています。引き続き、よろしくをお願いします。

■ 議事

第1号議案

- ・平成28年度活動報告
- ・平成28年度収支決算報告
- ・監査報告

質問=会報、参与会、ホームページの状況

回答=会報は前年通り2回発行した。参与会は役員会内に企画委員会を設置し参与会員へのサービスを検討。昨年末の若手の会忘年会へご招待した。今年度も新たなサービスを企画し提供する予定。ホームページも企画委員会で検討し新たな内容に改良していく方針。

⇒賛成多数で承認

第2号議案

- ・平成29年度活動計画案
文化交流会(9月)、ふるさと奈良の集い(11月)、新年賀詞交歓会(平成30年1月)
役員会・企画委員会=隔月に開催。
参与会=若手の会忘年会へ招待、奈良県出身者への支援事業への参加、年末に奈良の特産品を贈る。
賛助会=ホームページに会員企業のサイトを

リンクし特典とする。参与会同様、若手の会忘年会への招待と奈良の特産品を贈る。

若手の会=年間4回ほど開催予定

会報「県人会だより」=年2回(12ページと8ページ)発行から年3回(毎回4ページ)に改訂する。ただし、次号第40号は12ページで発行する。

その他、奈良県内市町村や県内企業・団体との交流、各地域の奈良県人会や関東十津川郷友会、養徳学舎の学生などとの交流を予定。

- ・平成29年度予算案
質問なし

⇒賛成多数で承認

第3号議案

- ・理事の選任

任期が満了する理事3人を規定上の任期2年を1年とする附則をつけて再任する。来年任期を迎える役員とそろえるための提案。再任には1万円の登記費用がかかるため全理事の任期を合わせることで出費を抑える目的。

⇒賛成多数で承認

つづく

議事終了後、奈良県から東京奈良県人会へ謝礼金の贈呈が行われた。青山奈良県東京事務所長は「日ごろの感謝の気持ちです。活動や親睦にお遣いください」と述べ、榎本会長へ手渡した。

続いて県人会から若手の会への協賛金が贈呈された。榎本会長から若手の会役員の吉村浄祐さんへ目録が手渡された。榎本会長は「若手の会の活躍で県人会が活性化し会員も増えている。これからもよろしく」と期待を寄せた。

青山所長が「奈良県の主要なプロジェクト」と題し、プレゼンテーションを行った。東京オリンピック開催に合わせて奈良県をアピールするため平成31年にフランスとイギリスの美術館や博物館で奈良県内の仏像を展示する▽平成32年度に天理市内で奈良県国際芸術家村を整備する▽奈良県立美術館や奈良県立大学を整備する—などの事業計画について説明した。また、奈良県農林部ならの木ブランド課が奈良県産木材の利用促進などについて説明した。

総会終了後に徳勝龍関が登場しミニトークが行われた。奈良新聞社東京支社の矢部創記者が一問一答形式で生い立ちや相撲への取り組み、古里への思いなどを質問。関取はひとことひとこと丁寧に答えた。最後に「3役を目指し頑張ります」と今後の目標を力強く語ってくれた。



■徳勝龍プロフィール

徳勝龍 誠(とくしょうりゅう・まこと)

昭和61年8月22日、橿原市生まれ。身長182センチ、体重180キロ。木瀬部屋

小学4年のときに橿原市のけはや道場で相撲を始める。中学から大阪府岸和田市の右門道場へ通い、中学卒業後、高知県の名門校、明德義塾高校に進学。高校2年生でインターハイ団体優勝し、個人では高2で国体16強、3年生で8強に進出。近畿大学進学後、西日本学生相撲選手権大会と全国大学選抜相撲高知大会で優勝した。大学4年生で木瀬部屋に入門。平成21年1月場所で初土俵。同年11月に幕下昇進。その後、本名の青木から「徳勝龍」に改名し平成23年の11月場所で十両昇進。平成23年の7月場所で新入幕を果たした。戦後の奈良県出身力士新入幕は「力櫻(りきおう)」と「大真鶴(だいまなづる)」以来3人目。昨年6月に結婚した。得意技は突き押しだが四つ相撲もこなす。

懇親会に移り、青山奈良県東京事務所長が「県人会は活発に活動され首都圏における奈良県出身者のネットワーク作りにご尽力されるとともに奈良県政にご協力賜り感謝申し上げます」と述べ、乾杯した。途中、初参加者の自己紹介や奈良県企業の「柿の葉すしたなか」や「奈良交通」などのPRが行われた。さらに徳勝龍関から提供のあった自身の手形とサインを書いた色紙15枚を争奪するジャンケン大会が開かれ、大いに盛り上がった。勝った人たちは徳勝龍関と握手し笑顔で色紙を受け取っていた。植嶋平治県人会副会長から徳勝龍関の今後の活躍を祈念して奈良の地酒と柿の葉すしがプレゼントされた。

最後に全員で記念写真を撮影した後、防衛省の辰巳昌良統括官が中締めあいさつに立ち、「仕事が苦しいときに、ふと思い出すのは奈良の山々など故郷の風景で、心の安らぎを与えてくれる。これからも奈良を守っていきます」と力強く締めくくった。

●● 東京奈良県人会若手の会の活動 ●●

第17回 「奈良のイチゴ食べ比べ」

平成29年4月21日(金)午後7時

会場・奈良まほろば館

第17回例会は4月21日(金)午後7時から東京都中央区の奈良まほろば館で開かれた。全国ブランド化を目指す奈良県産のイチゴについて理解を深めた。約70人が参加した。

はじめに同館勤務で奈良県職員の西田尚子さんが奈良県産イチゴの栽培の歴史や現在の取り組みなどを写真を見せながら解説。「アスカルビー」(JAはあすかるびー)と「古都華」は奈良県育成品種で全国ブランド化を目指してPRしている。

その後の懇親会で参加者は「かおり野」と「章姫」を加えた4品種を試食し故郷の美味を堪能した。



奈良県産イチゴについて解説する
奈良まほろば館職員の西田尚子さん



甘くて美味しい奈良県産イチゴ

第18回 「西大寺展見学会」

平成29年5月27日(土)午後3時

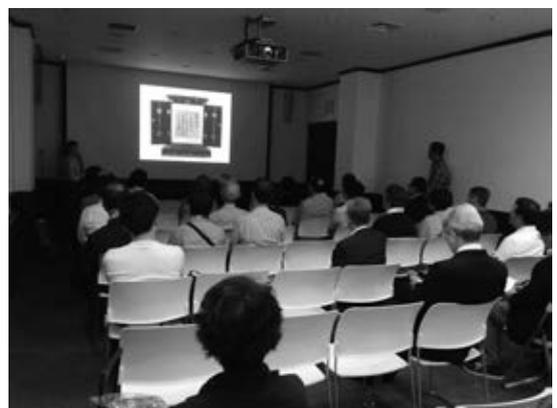
会場・三井記念美術館

第18回例会は5月27日(土)午後3時から東京都中央区の三井記念美術館で開催中の展覧会「西大寺展—叡尊と一門の名宝」(4月15日～6月11日)の見学会を行った。約50人が参加した。

第1部は、同館学芸員から見どころの解説を聞いた後、各々が自由に観覧した。

展覧会は、国宝「興正菩薩坐像」や重要文化財「愛染明王坐像」、国宝「金銅宝塔(壇塔)」など仏像や宝物の数々が並び、会員は熱心に見入っていた。

第2部は、近くにある奈良県産食材を使った居酒屋「あをによし」に場所を移し、懇親会を開いた。



学芸員による解説

ふるさとコーナー 暮らしの中に喜びが満ちるまち 上牧町

【概要】

上牧町は、奈良県の北西部に位置し、面積は6.14平方キロメートルで、東西2.1キロメートル、南北3.6キロメートルのほぼ長方形をした町です。北は王寺町、北東は河合町、南は広陵町、そして西は葛下川を挟んで香芝市に隣接しています。昭和40年代後半には、西大和ニュータウンの開発により、人口が急増し、人口増加率日本一になったこともあります。大阪中心部から電車とバスを乗り継ぎ60分以内でアクセスでき、県外への通勤・通学にも便利な立地です。現在の人口は22,764人(29年6月末現在)。のどかな田園風景がありながら、生活に欠かせない商業施設や教育機関などが集まり、生活に馴染みやすい町です。



町の風景

【歴史】

「上牧」の地名の起こりは、この地一帯がゆるやかな丘陵に抱かれて、放牧に適したところから出ていることは「日本書紀」や「続日本書紀」によってうかがわれ、上の牧、下の牧があったと口碑が残っています。

この地は当時の宮廷人たちの逍遥の地で、しばしばその歩みを止めたというほどで、なかでも南上牧東南丘から井戸ヶ尻に至る眺めは素晴らしく、この辺り一帯の丘はすべて古墳だといわれています。元亀・天正の戦乱の時代になると、片岡氏が上牧に城山を構えて治めていましたが、天正5年10月、その子孫の弥太郎春之の時に、河内国の松永久秀の軍勢により片岡城を追われ、その後、織田信長に反旗を翻した松永久秀の片岡城を攻めるために、明智光秀や筒井順慶らが戦国絵巻を繰り広げるなど、歴史ロマンを感じさせられる地でもあります。

【歴史・魅力をたどる】

片岡城跡

片岡城跡は、南北に伸びた馬見丘陵の最北端、下牧集落の背後にあり、河内から明神山の北を越え、田原本に至る古道に面し、俗に「城山」と呼ばれています。城山の西の片岡谷一帯が中世の興福寺一乗院領の諸荘園であり、下牧集落の東を流れる滝川一帯には、牧山上荘下荘が展開し、これらの荘園を本拠に成長した国人片岡氏が片岡城を築きました。今は城跡だけが残っています。



片岡城跡

上牧久渡古墳群(国史跡指定)

上牧久渡古墳群は、松里園地区の久渡山に所在し、葛下川を見下ろす標高約70メートルの半独立丘陵です。邪馬台国の卑弥呼が中国から贈られたとも言われる鏡「画文帯環状乳神獣鏡」が出土した上牧久渡3号墳をはじめとする7基の古墳が存在します。「画文帯環状乳神獣鏡」は、直径14センチメートルの円形で、中国の神話に基づく神や仙人が浮き彫りされ、48文字が円弧上に配置されています。このほか、鉄槍、鉄鏃、土師器なども出土しました。今後は、史跡公園に向けての整備が検討されています。



3号墳出土画文帯環状乳神獣鏡



ふるさとコーナー

人よし、森よし、
暮らしよし

黒滝村



〈概要〉 黒滝村は、奈良県のほぼ中央部に位置し、「奈良のへそ」と呼ばれており、東西12km、南北10km、総面積47.70km²で平均標高455mと高く四方を山に囲まれています。また、面積の約97%が山林で、河川沿いの僅かな平地や山麓斜面に民家や農地が点在して、集落を形成している典型的な溪谷型山村であり、その溪谷からこぼれる清水の流れから、「黒滝」という地名が名づけられたといわれています。この豊かな自然と森林資源に恵まれ、産出される杉、桧は良質な「吉野材」として全国にその名を知られてきた、小さいながらもまさに「森の村」です。

昭和35年に3000人を割って以来、減少の一途をたどり始めた人口は、基幹産業である林業の衰退、時代の背景等による減少率の変化はあるものの、今なお過疎化傾向にあり、平成27年国勢調査では660人となっています。

〈特産品〉 奈良県の「大和の伝統野菜」に認定され、又、日本遺産にも登録されている「黒滝白きゅうり」は江戸時代から栽培されたと言われ、白くて短い外見で、えぐみがなくコリコリした食感が特徴です。村では塩と米ぬかだけで漬けた漬物を茶粥と一緒に食べられることが多く、田舎のおばちゃんの味として愛されています。又、加工を加え、白しょうゆ漬け、キムチ漬け、佃煮を新たな特産品として売り出しています。



黒滝白きゅうり

〈観光施設〉 黒滝川のほとりに広がる、山里型リゾート施設「黒滝・森物語村」は、豊かな黒滝の自然を村おこしのキーワードにという声から生まれた、村自慢のリゾート施設です。「遊ぶ」「食べる」「和む」をテーマにした施設がそろっています。また、御吉野の湯をリニューアルし人工温泉を開湯しました。

北欧の民家をイメージして建てられた赤い屋根が目印の「309道の駅吉野路黒滝」は、観光案内所と休憩所を兼ねた総合案内センターで、良質な村の木を使った施設内には特産品、土産品の販売所、コンビニエンスストアが軒を連ねています。

赤岩溪谷の林間に設けられた「きららの森・赤岩」は、コテージ、バンガロー合わせて12棟あり、テニス、バーベキューが楽しめるほか溪谷散歩やアマゴのつかみ取りなど、豊かな自然の中でアウトドアレジャーを思う存分楽しめます。

〈黒滝村お得情報〉

出産祝い金の支給：

子どもを出産した時に、1人当たり5万円を支給します。

子ども医療費(一部負担金)：

15歳の最初の3月31日を迎える日まで、児童の疾病又は負傷した時に支払った医療費が全額助成されます。

児童養育手当の支給：

第3子以降の児童で、15歳の最初の3月31日を迎える日まで、1月につき1人当たり5千円を支給します。

村立こども園(保育園部)：

生後6ヶ月からお預かりします。

入学祝金：村立こども園・小中学校入園入学時に祝金として各5万円を支給します。

保育料：村立こども園(幼稚園部)無料。(保育園部)低額設定

給食費・修学旅行費の全額助成：

給食費・修学旅行費を全額助成します。

高校生通学支援：

村内に住む高等学校等に自宅から通う生徒の保護者に、1ヵ月1万8千円を補助します。



黒滝・森物語村



きららの森・赤岩

●● 奈良まほろば館からのお知らせ ●●

奈良県人会の皆様には、平素から奈良まほろば館の運営にご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

奈良まほろば館では、お客様の利便性の向上と、商品の販売促進を目指し、平成29年6月に店舗内の一部改装を行いました。また、奈良の旅行商品のさらなる販売促進に向け、観光案内スペースに奈良県への旅行を目的とした商品パンフレットのコーナーも設置したところです。

今後も奈良の魅力発信に繋がる各種イベントや講演・講座を随時開催し、奈良のファンを増やすように努めてまいります。なお、今年度下半期に予定している主なイベント等は下記のとおりです。皆さまのご来館をお待ち申し上げます。

——● 29年度奈良まほろば館 下半期の予定(10月~3月) ●——

10月

- 興福寺中金堂落慶関連展
- DEEP YOSHINO 下市町&黒滝村わくわく魅力満載展(下市町・黒滝村)
- おうじWeeeek in TOKYO(王寺町)
- 入江泰吉写真展
- 橿原考古学研究所附属博物館(秋季特別展)ブリーフガイド

11月

- 第2回ならPHOTO CONTEST受賞作品巡回展
- 安堵町魅力紹介イベント(安堵町)
- 御所市魅力紹介イベント(御所市)

12月

- チャリティー書画展
- 奈良ブランド靴下展示販売

<http://www.mahoroba-kan.jp/>
電話:03-3516-3931

1月

- JR東海「うましうるわし奈良」キャンペーンの紹介
- 宇陀市物販イベント(宇陀市)

2月

- 世界遺産 吉野と日本遺産 飛鳥の魅力紹介展
- 橿原考古学研究所附属博物館(特別陳列)ブリーフガイド
- 大和地蔵十福霊場巡り展

3月

- 金峯山寺展

※このほかにも、「南都法話会」、「奈良・シルクロードの会」、写経教室などの文化講座も実施しており、詳細情報や申込等は奈良まほろば館のホームページをご覧ください。お問い合わせください。

——● 奈良県現地ツアー「奈良うまし冬めぐり」のご案内 ●——

「奈良うまし冬めぐり」は平成29年12月~平成30年3月の冬ならではのとおきの奈良を感じていただける現地ツアーキャンペーンです。その中でもイチ押しツアーのご紹介します!
※一部9月~11月の特別設定もございます。



【うまし限定企画!】国宝の禅室で心休まる座禅体験!

元興寺 極楽堂特別参拝と座禅体験

僧侶のご案内付き

【内容】 世界遺産である元興寺の極楽堂にて僧侶のご案内のもと特別参拝していただきます。また、国宝である禅室にて僧侶のご指導のもと座禅体験をしていただきます。

【開催日】 9/2(土)、10/30(月)、11/24(金)、1/20(土)、2/18(日)、3/4(日)、10(土)
※1日1回実施 10:00~(所要時間:約60分) ※9/2(土)のみ14:00~

【参加費】 販売価格:2,000円/名
※子ども料金設定なし(大人と同額)

【最少催行人員】 6名

【定員(1回)】 30名

■当日のスケジュール ※スケジュールは変更される場合があります。

・受付 → 極楽堂特別参拝(僧侶のご案内付き) → 禅室(国宝)で座禅体験 → 解散

◎元興寺

元興寺は、南都七大寺の一つであり、日本最古の仏教寺院の法興寺の後身で歴史深いお寺です。極楽堂と禅室の屋根瓦の一部は、飛鳥時代の古瓦が今もなお使用されています。禅室は天平時代の僧坊の形をとどめる貴重な遺構。法輪館には五重小塔(国宝)や聖徳太子立像(重文)等を安置。中世~江戸期の貴重な庶民信仰資料(重要有形民俗文化財)なども収蔵されており、中世以降庶民に支えられてきた歴史を物語る。





【うまし限定企画！】普段は入堂できない金堂でのお勤め体験！ 僧侶のご案内付き

室生寺 金堂特別拝観とお勤め体験(境内案内・記念品付き)

- 【内 容】 通常は入れない国宝・金堂の堂内にて僧侶とともにお勤めの体験の後、僧侶のご案内付きで特別拝観していただきます。
- 【開催日】 12/8(金), 9(土), 15(金), 16(土), 22(金), 23(土祝),
1/19(金), 20(土), 26(金), 27(土),
2/9(金), 10(土), 16(金), 17(土), 23(金), 24(土), 3/2(金), 3(土)
※その他の日程については要相談
※1日1回実施 13:30～(所要時間：約60分)
- 【参加費】 販売価格：大 人 1,500円/名
小学生 1,200円/名
- 【最少催行人員】 5名
- 【定員(1回)】 60名



■当日のスケジュール ※スケジュールは変更される場合があります。
・仁王門前 → 鑑坂 → 金堂(お勤め体験) → 僧侶のご案内で境内特別拝観 → 解散

◎室生寺 美しい自然に溶け込み、訪れる人々を優しい気持ちにさせてくれる女人高野。真言密教の根本道場である高野山が、厳しく女人を禁制したのに対し、室生寺は女人にも開かれた道場『女人高野』として広く親しまれるようになりました。



【うまし限定企画！】相撲発祥の地「奈良」であなたも相撲を体感しよう！

**相撲館けはや座 今日からあなたも相撲通！
横綱・稀勢の里が稽古した土俵にあなたも上がりませんか**

ご案内付き

- 【内 容】 相撲発祥の地「奈良」で相撲を体感！相撲甚句を聞き、アマチュアカ士の相撲見学(解説付き)、まわし着用や着ぐるみでカ士になりきり、老若男女が上げられる土俵で記念撮影♪
- 【開催日】 1/20(土), 2/10(土), 2/24(土), 3/10(土), 3/24(土)
※1日1回実施 14:00～(所要時間：約90分)
- 【参加費】 販売価格：5,200円/名
※子ども料金設定なし(大人と同額)
- 【最少催行人員】 10名
- 【定員(1回)】 30名



■当日のスケジュール ※スケジュールは変更される場合があります。
・受付 → 相撲甚句の拝聴 → アマチュアカ士の相撲見学(解説付き) → まわしや着ぐるみ着用でのカ士体験と記念撮影 → 解散

※お申込方法など、詳細については平成29年9月上旬に「奈良うまし冬めぐり」公式サイトにて公開予定です。
問い合わせ先：一般財団法人奈良県ビジターズビューロー TEL:0742-81-8680

●● 東京奈良県人会今後の予定 ●●

◎文化交流会

若手の会の皆さんにも是非ご覧いただきたい内容です。戦後1952年に撮影された清水宏監督「大佛さまと子供たち」は白黒フィルムですが大変貴重な映画です。戦後の奈良の風景を映像で確認できますとともに、奈良・東大寺で観光案内でお金を稼ぎながらたくましく生きている戦災孤児たちの姿を描いています。特にラストのシーンは必見です。

- 日にち：9月14日(木)
- 場所：都道府県会館(千代田区平河町2-6-3)

<第1部>

- 映画「大佛さまと子供たち」上映
- 時間：18:30～20:30
- 会場：都道府県会館402号会議室(定員100名)
- 会費：1,000円

<第2部>

- 懇親会
- 時間：20:30～22:00
- 会場：上海大飯店(都道府県会館B1)テーブル席を50名用意しています。
- 会費：4,000円

〔※詳細お申し込みは、同封資料をお読みください。〕

◎平成29年度ふるさと奈良の集い

- 11月初旬開催の予定(会場・内容などは決まり次第、ご案内します。)

会費納入のお願い

年会費未納の方には振込用紙を同封していますので、お振込みをお願いします。